

## 2017-業績一覧-歯科基礎系講座

著者	日本歯科大学
雑誌名	日本歯科大学生命歯学部研究年報
巻	2017
ページ	4-41
発行年	2018-10
URL	<a href="http://id.nii.ac.jp/1102/00000845/">http://id.nii.ac.jp/1102/00000845/</a>



## 解剖学第1講座 Department of Anatomy

### 1. 所属構成員等

教 授 佐藤 巖  
准 教 授 春原 正隆  
講 師 上野 隆治（併任），上田（三輪）容子  
助 教 関 伸一郎  
臨 床 研 究 生 黒澤 一弘，古賀慎太郎，滝口 昌親  
客 員 教 授 等 島田 和幸  
非 常 勤 講 師 坂井 建雄，伊藤 正裕，隅田 由香，大垣 敦則，谷津 利夫，  
平形 寿善，藤橋 敏行，関井 啓文，佐藤 忠敬，河野 勉，  
森山 浩志，小関 博之，新井 啓之，野口 顕造，山崎 昌彦，  
渡邊 一博，山下 恭嗣，藤田 俊哉  
大 学 院 生 前田 祐貴

### 2. 研究テーマ

- 1) 口腔領域の器官形成と細胞外マトリックスの役割 A study of the role of intercellular matrix at the organ formation in the orofacial region.
- 2) 食性の変化における咀嚼筋への影響について Anatomical study of the masticatory muscle under the influence of the dietary changes.
- 3) 顎顔面領域の自律神経系についてのマクロ解析 Anatomical analysis of the distribution of autonomic nerves in the maxillofacial region.
- 4) 血小板造血機構の分子生物学的解析 Molecular biological analysis of platelet hematogenesis.
- 5) 顎顔面領域の比較解剖学 Comparative anatomy in the maxillofacial region.

### 3. 今年度の研究上の特記すべき事項

記載事項なし

### 4. 学位取得者

記載事項なし

### 5. 主催学会等

- 1) 平成 29 年度日本歯科大学校友会ポストグラデュエートコース「日常臨床における基礎・診断・治療をあらためてとらえる一歯周・矯正・画像診断・解剖からみた重要ポイントと活用」，東京，日本歯科大学生命歯学部，平成 29 年 7 月 22 日・23 日，解剖学第 1 講座・日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック共催（主催者：佐藤 巖：解剖学第 1 講座，代居 敬：歯科放射線学講座，沼部幸博：歯周病学講座，小森 成：附属病院矯正歯科）。

### 6. 国際交流状況

- 1) 共同研究：春原正隆，Professor W. Kriz（ドイツ，Center for Biomedicine and Medical Technology (CBMT)，Medical Faculty Mannheim，University of Heidelberg），Dr. K. Endlich（ドイツ，Dept. of Anatomy and Cell Biology，Ernst Moritz Arndt University），Dr. N. Endlich（ドイツ，Dept. of Anatomy

and Cell Biology, Ernst Moritz Arndt University), 「Podocyte 細胞骨格変化に関与する細胞内情報伝達系の解析」, 2017 年 4 月 1 日～2018 年 3 月 31 日 (継続).

- 2) 共同研究: 上野隆治, Professor G. C. Townsend (オーストラリア, School of Dentistry, The University of Adelaide), Professor M. Henneberg (オーストラリア, Department of Anatomical Sciences, The University of Adelaide), Dr. C. Kemper (オーストラリア, Division of Natural Science, South Australian Museum), 「オーストラリア産有袋類の歯牙形態についての比較解剖学的研究」, 2017 年 4 月 1 日～2018 年 3 月 31 日 (継続).

## 7. 外部・学内研究費

- 1) 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究 (C) (継続), 平成 26～30 年度, 歯髓血管新生過程における TPO/MPL シグナル制御機構の時空的解析, 春原正隆 (代表), 455 万円, 平成 29 年度 91 万円.

## 8. 研究業績

### A. 著 書

1. 上野隆治 (分担執筆): 日本顎関節学会学術用語集 第 1 版, 一般社団法人日本顎関節学会 (編), クインテッセンス出版株式会社, 東京, 2017, ISBN : 978-4-7812-0566-3.

### B. 原 著

1. Sunohara M, Sato I, Morikawa S : Promoter motifs required for c-mpl gene expression induced by thrombopoietin in CMK cells, ☆Cell. Mol. Biol. (Noisy-le-grand), 2017 ; 63 (1) : 119-123, doi : 10.14715/cmb/2017.63.11.21.
2. Miwa Y, Asaumi R, Kawai T, Maeda Y, Sato I : Morphological observation and CBCT of the bony canal structure of the groove and the location of blood vessels and nerves in the palatine of elderly human cadavers, ☆Surg. Radiol. Anat., 2017 ; 40 : 199-206, doi : 10.1007/s00276-017-1952-6.
3. Kamata H, Karibe H, Sato I : Comparison of the expression of neurotransmitter and muscular genesis markers in the postnatal male mouse masseter and trigeminal ganglion during development, ☆J. Neurosci. Res., 2017 ; *in press*, doi : 10.1002/jnr.24211. [Epub ahead of print]
4. Mitsuoka K, Kikutani T, Miwa Y, Sato I : Expression of CGRP neurotransmitter and vascular genesis marker mRNA is age-dependent in superior cervical ganglia of senescence-accelerated prone mice, ☆Neurosci. Lett., 2018 ; 664 : 144-151, doi : 10.1016/j.neulet.2017.11.034.
5. Sumida K, Ando Y, Seki S, Yamashita K, Fujimura A, Baba O, Kitamura S : Anatomical status of the human palatopharyngeal sphincter and its functional implications, ☆Surg. Radiol. Anat., 2017 ; 39 : 1191-1201, doi : 10.1007/s00276-017-1855-6.
6. Asaumi R, Kawai T, Miwa Y, Sunohara M, Sato I : The CBCT image of alveolar bone structure in maxilla elderly donor cadaver and PCA analysis, ☆Okajima Folia Anatomica Japonica, 2017 ; *in press*.
7. Kawai T, Sato I, Asaumi R, Yosue T : Cone-beam computed tomography and anatomical observations of normal variants in the mandible: variant dentists should recognize, ☆Oral Radiology, 2017 ; doi : 10.1007/s11282-017-0307-7.

### C. 総説・解説

記載事項なし

#### D. 報告（臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等）・紀要

1. 佐藤 巖：献体の意思尊重と後見人制度について—献体登録者の家族状況の実体—, 81-83, 篤志献体, 第 60 号 [2018 年 3 月 27 日 (平成 29 年)]: 篤志解剖全国連合会, 2018.
2. 佐藤 巖：日常臨床における基礎・診断・治療をあらためてとらえる—歯周・矯正・画像診断・解剖からみた重要ポイントと活用—, 43 (2): 43-50, 日本歯科大学校友会・歯学会会報, 日本歯科大学, 東京, 2017.

#### E. 翻 訳

記載事項なし

#### F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. Sato I, Maeda Y, Miwa Y, Sunohara M: Gene Expression of Angiogenesis Markers in Mouse Mandibular Condyle During Development, 2017 Experimental Biology (Chicago), PROGRAM BOOK, 286, 2017.
2. Miwa Y, Sunohara M, Sato I: Distribution of CGRP and Bone Remodeling Markers in the Mandible of Senescence Accelerated Mouse, 2017 Experimental Biology (Chicago), PROGRAM BOOK, 384, 2017.
3. Sunohara M, Morikawa S, Noguchi K, Sato I: Contribution of the signaling molecules during vascular development in tooth germ, Anatomische Gesellschaft, 112<sup>th</sup> Annual Meeting (Würzburg, Germany), p26 (P97), 2017.
4. 須永健一, 小川智久, 岩田 洋, 小堀瑛一, 角田憲祐, 阪 奈津子, 木庭圭祐, 藤沼宏治, 竹島明德, 札川 新, 藤倉枝里子, 前田祐貴: 各種セメントのエックス線不透過性に関する研究, 日本歯周病学会会誌, 59 (春季特別): P146, 2017.
5. 佐藤 巖, 三輪容子, 春原正隆: ヒト中耳関連筋における CGRP の局在性について, 第 59 回歯科基礎医学会学術大会ならびに総会 プログラム集, 408, 2017.
6. 春原正隆, 佐藤 巖: 歯胚発生過程における血管形成制御因子の発現状況および局在の検討, 第 59 回歯科基礎医学会学術大会ならびに総会 プログラム集, 403, 2017.
7. 三輪容子, 春原正隆, 佐藤 巖: 口蓋溝の形態と大小口蓋動脈・神経分布について, 第 59 回歯科基礎医学会学術大会ならびに総会 プログラム集, 404, 2017.
8. 光岡一行, 佐藤 巖: ヒト上顎神経節における肉眼解剖学的評価, 第 59 回歯科基礎医学会学術大会ならびに総会 プログラム集, 408, 2017.
9. 佐藤 巖, 浅海利恵子, 三輪容子, 河合泰輔, 春原正隆: ヒト上顎骨における CGRP の動態と CBCT による骨解析の関連性について, 第 123 回日本解剖学会総会・全国学術集会 講演プログラム・抄録集, 111, 2018.
10. 前田祐貴, 三輪容子, 佐藤 巖: マウスの顎骨の成長発育における CGRP と各種マーカーの動態, 第 123 回日本解剖学会総会・全国学術集会 講演プログラム・抄録集, 111, 2018.
11. Sunohara M, Morikawa S, Sato I: Signaling molecules in embryonic vascular development of tooth germ, 第 123 回日本解剖学会総会・全国学術集会 講演プログラム・抄録集, 167, 2018.
12. Miwa Y, Asami R, Sunohara M, Sato I: Observation of the greater and lesser palatine foramen in maxilla, 第 123 回日本解剖学会総会・全国学術集会 講演プログラム・抄録集, 168, 2018.
13. 和智圭史, 雨宮壮太, 三輪容子, 佐藤 巖, 易 勤: 腓腹筋内側頭と膝窩動脈の位置関係と膝窩動脈捕捉症候群発生の関連性について, 第 123 回日本解剖学会総会・全国学術集会 講演プログラム・抄録集, 111, 2018.
14. 高橋亮吾, Yidan Dai, 三輪容子, 佐藤 巖, 易 勤: 寛骨臼関節唇と腸腰筋の位置関係について,

第 123 回日本解剖学会総会・全国学術集会 講演プログラム・抄録集, 115, 2018.

15. 黒澤一弘, Yidan Dai, Ke Ren, 三輪容子, 佐藤 巖, 易 勤: 下腭動脈の由来より腭臓の発生と血管との関連性を考案する, 第 123 回日本解剖学会総会・全国学術集会 講演プログラム・抄録集, 171, 2018.
16. Ueno R, Sato I, Oshima K, Grant C. Townsend : Morphometric study of the maxillary molars and skulls of the Eastern Bettong (*Bettongia gaimardi*), 第 123 回日本解剖学会総会・全国学術集会 講演プログラム・抄録集, 194, 2018.

## G. 講 演

- (1) 特別講演・シンポジウム等での講演

記載事項なし

- (2) 講演会・研究会・研修会等での講演

記載事項なし

## 解剖学第2講座 Department of Histology

### 1. 所属構成員等

教 授 菊池憲一郎  
講 師 池田 利恵 (併任), 高田 清美  
客 員 教 授 等 中田 裕之 (4月～3月)  
非 常 勤 講 師 仁木 利郎, 上田 秀一, 池上 公章, 青木 一之, 藤澤 有香,  
大沢 弘一, 犬飼 善雄, 黒木 淳也, 藤島 明, 小川 享宏  
書 記 佐藤住美江  
大 学 院 生 澤野 和生

### 2. 研究テーマ

- 1) 唾液腺の老化 Aging of salivary gland.
- 2) 上皮組織の再生 Regeneration of epithelial tissue.
- 3) 唾液腺の比較組織 Comparative histology of salivary gland.
- 4) 唾液腺の損傷と修復 Damage and repair of salivary gland.
- 5) 唾液腺の発生と分化 Development and differentiation of salivary gland.

### 3. 今年度の研究上の特記すべき事項

記載事項なし

### 4. 学位取得者

記載事項なし

### 5. 主催学会等

記載事項なし

### 6. 国際交流状況

- 1) 菊池憲一郎: Prof. Arthur R. Hand (University of Connecticut Health Center Dept. of Craniofacial Sciences, USA), Dr. Lily Mirels (University of California, Berkeley Department of Molecular and Cell Biology, USA), Prof. Anil G. Menon (University of Cincinnati, Dept. of Molecular Genetics, USA) との間で, 唾液腺の発生, 分化, 老化に関する共同研究を行っている.
- 2) 池田利恵: Dr. R. S. Redman (Dept. of Veterans Affairs Medical Center, USA) と唾液腺の発達および再生について共同研究を行っている.

### 7. 外部・学内研究費

- 1) 日本学術振興会科学研究費助成事業科学研究費補助金, 基盤研究 (C) (継続), 平成 27～30 年度, bFGF と脂肪細胞培養法による上皮組織再生機構の解明, 菊池憲一郎 (代表), 池田利恵 (分担), 那須優則 (分担), 高田清美 (分担), 堀江哲郎 (分担), 4,810,000 円, 平成 29 年度 1,900,000 円.

## 8. 研究業績

### A. 著 書

1. 1) 池田利恵 (分担執筆) : I 編 総論 6 章 医薬品を適用する際の注意, 7 章 薬物の取り扱い, 8 章 薬物と法律・薬物と医薬品, 44-64, 全国歯科衛生士教育協議会 (監修), 最新歯科衛生士教本 疾病の成り立ち及び回復過程の促進 3 薬理学第 2 版, 医歯薬出版株式会社, 東京, 2018 年, ISBN : 978-4-263-42860-3.
- 2) 池田利恵 (分担執筆) : II 編 各論 21 章 漢方医学と薬物, 204-205, 全国歯科衛生士教育協議会 (監修), 最新歯科衛生士教本 疾病の成り立ち及び回復過程の促進 3 薬理学第 2 版, 医歯薬出版株式会社, 東京, 2018 年, ISBN : 978-4-263-42860-3.
2. 池田利恵 (共著) : 器材準備マニュアル, 2-76, 松井恭平, 近藤健示, 関口洋子 (著), 一般社団法人 全国歯科衛生士教育協議会 (編), 器材準備マニュアル 第 7 版, 一般財団法人 口腔保健協会, 東京, 2018 年, ISBN : 978-4-89605-340-1.

### B. 原 著

1. 都築夏子, 池田利恵 : 医療系短期大学女子学生の口臭と唾液分泌量および生活習慣との関連性, ○日歯大東短誌, 2017 ; 7 (1) : 31-40.  
Tsuduki N, Ikeda R : Association between bad breath and quantity of saliva secretion and lifestyle habits in female dental college students, ○J. of The Nippon Dental University College at Tokyo, 2017 ; 7 (1) : 31-40.

### C. 総説・解説

記載事項なし

### D. 報告 (臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等)・紀要

1. 池田利恵 : 千代田区から発信する子どもたちの歯・口の健康「見える化」プロジェクト, 「平成 28 年度千代田学」調査・研究報告書, 2017.

### E. 翻 訳

記載事項なし

### F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. 宮坂孝弘, 北原和樹, 小林さくら子, 菊池憲一郎, 新谷明一, 柴田 潔, 佐藤 勉, 内川善盛, 大津光寛, 小川智久, 筒井健夫, 沼部幸博, 羽村 章 : チーム基盤型学習法 (TBL) を活用した禁煙支援教育への取り組み, 第 36 回日本歯科医学教育学会総会および学術大会 プログラム・抄録集, 134, 2017.
2. 鈴木 恵, 茂原宏美, 浦野瑤子, 小倉千明, 池田亜紀子, 須田真理, 関口洋子, 市川順子, 野村正子, 合場千佳子, 池田利恵, 内川善盛, 北原和樹, 佐藤 勉, 小口春久, 奈良陽一郎 : 日本歯科大学東京短期大学におけるコミュニケーション学の効果と問題点, 第 36 回日本歯科医学教育学会総会および学術大会 プログラム・抄録集, 133, 2017.
3. 澤野和生, 菊池憲一郎, 那須優則, 堀江哲郎, 池田利恵, 高田清美 : マウス顎下腺への放射線照射に対する鉛板の防護条件の検討, 第 59 回歯科基礎医学会学術大会 プログラム・抄録集, 481, 2017.

4. 市川順子, 小池麻里, 今井久枝, 関口洋子, 合場千佳子, 池田利恵, 小口春久: 歯科衛生士学生卒業時の意識とステークホルダー調査の比較—短期大学における教育の改善と質の向上をめざして—, 日本歯科医療管理学会雑誌, 52 (1) : 42, 2017.

## **G. 講 演**

- (1) 特別講演・シンポジウム等での講演

記載事項なし

- (2) 講演会・研究会・研修会等での講演

1. 菊池憲一郎: 唾液腺の発生と分化, 日本歯科大学生命歯学部 平成 29 年度大学院セミナー, 日本歯科大学生命歯学部, 平成 29 年 6 月 15 日.



## 1. 所属構成員等

教 授 今井 敏夫  
准 教 授 佐伯 周子  
講 師 高橋 誠之 (4月～8月)  
助 教 井出 良治  
非常勤講師 吉田 清幸, 小林 菊生, 加藤 健一, 萩原 和明, 福田 智英,  
山田 好秋, 池田 水脈, 吉田 清輝, 角井 淳, 牧野 真也,  
岩崎 浩介, 牧野 路生, 原 紀文, 小林 則之, 河内 嘉道,  
牧野 尚子  
医療職員 大岡 実菜  
大学院生 北島躍一郎, 永倉由加里

## 2. 研究テーマ

- 1) 硫化水素による歯槽骨吸収に関する研究 Study on the alveolar bone absorption by hydrogen sulfide.
- 2) 肺, 気道からの求心性神経の活動ならびに篩状神経節ニューロンでのイオン動態についての研究 Studies on vagal afferent activities and the ionic mechanism for excitability of nodose ganglion neurons innervating the respiratory system.
- 3) 三叉神経支配領域の“疼痛伝達抑制機構”と“異常疼痛発症機構”についての研究 Studies on the descending inhibitory mechanism of trigeminal nociceptive transmission and the mechanism involved in development for allodynia/hyperalgesia originating from the trigeminal system.
- 4) 脳幹呼吸中枢を含む呼吸調節機構に内因性及び外因性因子が及ぼす影響に関する研究 Studies on the exogenous and endogenous factors, which influence activities in brainstem respiratory center and other respiratory control systems.
- 5) 小学生児童の味覚と嗜好に関する研究 Studies on the abilities to identify tastes and the taste preferences in Japanese elementary school children.

## 3. 今年度の研究上の特記すべき事項

記載事項なし

## 4. 学位取得者

記載事項なし

## 5. 主催学会等

記載事項なし

## 6. 国際交流状況

- 1) 佐伯周子: McGill University (Montreal, Canada), Department of Physiology の Prof. Jacopo P. Mortola と哺乳類の生理機能発達に関する研究の学術交流ならびに共同研究を行っている。

## 7. 外部・学内研究費

- 1) 日本学術振興会科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金），若手研究（B）（新規），平成 29～31 年度，非歯源性歯痛における三叉神経節内 GABA 受容体の病態生理学的役割，高橋誠之（代表），3,770,000 円，平成 29 年度 1,300,000 円。
- 2) 日本学術振興会科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金），基盤研究（C）（継続），平成 27～29 年度，口臭物質による歯槽骨吸収を制御するメカニカルストレスの生理学的役割，今井敏夫（代表），那須優則（分担），4,810,000 円，平成 29 年度 780,000 円。
- 3) 日本学術振興会科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金），基盤研究（C）（継続），平成 29～31 年度，アルツハイマー病三次元病態モデルの構築とヒト歯髄幹細胞を用いた新規治療法の開発，肖 黎（代表），佐伯周子（分担），岡村 尚（分担），4,680,000 円，平成 29 年度 1,820,000 円。
- 4) 市川市歯科医師会・日本歯科大学生命歯学部生理学講座の共同研究（千葉県市川市教育委員会主催），平成 29 年度，小学生の味覚閾値と口腔環境の関連性についての研究，今井敏夫（代表），佐伯周子（分担），井出良治（分担），永倉由加里（分担），北島躍一郎（分担），橋爪那奈（分担），100,000 円。

## 8. 研究業績

### A. 著 書

記載事項なし

### B. 原 著

1. Xiao L, Ide R, Saiki C : Human Dental Pulp Cells Differentiate toward Neuronal Cells and Promote Neuroregeneration in Adult Organotypic Hippocampal Slices in Vitro, ◎☆Int. J. Mol. Sci., 2017 ; 18 (8) : pii : E1745, doi : 10.3390/ijms18081745.
2. Ide ST, Ide R, Mortola JP. : Aerobic scope in chicken embryos, ◎☆Comp. Biochem. Physiol. A Mol. Integr. Physiol., 2017 ; 212 : 81-87, doi : 10.1016/j.cbpa.2017.07.017.

### C. 総説・解説

記載事項なし

### D. 報告（臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等）・紀要

記載事項なし

### E. 翻 訳

記載事項なし

### F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. 佐伯周子，井出良治，高橋誠之，河内嘉道，小林則之，石井広志，今井敏夫：小学校児童の味覚検査の有用性に関する検討 学校保健研究，Vol. 59（Supple）：202，2017.
2. Saiki C, Ide R, Takahashi M, Imai T, Kawauchi K, Ishii H, Hasegawa M : Gustatory test performed in schoolchildren, J. Oral Biosci., 2017（Supple）：451，2017.
3. Ide R, Saiki C, Takahashi M, Hashizume N, Imai T : Contribution of gas exchange lung - CAM in the

chicken embryo during cold – hypometabolism, J. Oral Biosci., 2017 (Supple) : 486, 2017.

4. Hashizume N, Saiki C, Ide R, Sunada K, Imai T : Spontaneously breathing neonatal rat and respiratory sinus arrhythmia, J. Physiol. Sci., 68 (Supple), 2P-190 : S104, 2018.

## **G. 講 演**

- (1) 特別講演・シンポジウム等での講演

記載事項なし

- (2) 講演会・研究会・研修会等での講演

1. 筒井健夫, 佐伯周子, 那須優則, 鈴木さつき, 戸円智幸, 深田哲也, 片柳亮太 : 平成 29 年度 動物実験実技講習会, 日本歯科大学生命歯学部 東京, 平成 29 年 5 月 18 日 (第 1 回), 8 月 8 日 (第 2 回).
2. 井出良治, 佐伯周子, 河内嘉道, 小林則之, 石井広志, 今井敏夫 : 小学校児童の味覚の現状について, 歯学会学内口頭発表会, 日本歯科大学生命歯学部 東京, 平成 29 年 9 月 15 日.

## 1. 所属構成員等

教 授 今井 一志  
准 教 授 千葉 忠成  
講 師 須藤 遥  
助 教 富山 希美  
客 員 准 教 授 水沼 秀樹  
非 常 勤 講 師 岡崎 真大, 笹谷 和伸, 柴田 征紀, 橋本 孝志, 宮坂 芳弘,  
宮澤 淳, 毛呂 文紀, 山崎 典孝  
大 学 院 生 山口 光祐, 野澤 孝臣

## 2. 研究テーマ

- 1) 口腔扁平上皮癌進展の制御機構 Regulatory pathways of oral squamous cell carcinoma progression.
- 2) 上皮間葉移行の転写制御と細胞内シグナル伝達 Transcriptional control and intracellular signaling cascades involved in the epithelial-mesenchymal transition pathway.
- 3) 非腫瘍性疾患の病態成立に働く細胞内シグナル伝達系と遺伝子発現制御機構 Intracellular signaling pathways and transcriptional regulation of gene expression involved in non-tumorigenic disease development and progression.
- 4) 関節リウマチ滑膜線維芽細胞様細胞の表現型変化と病変の進行 Phenotypic alteration of rheumatoid arthritic synovial fibroblast-like cells and its implication in the disease progression.
- 5) 細胞分裂期・タウ蛋白の微小管切断阻害効果と腫瘍細胞における染色体不安定性 Tau-mediated mitotic spindle protection against microtubule severing proteins in tumor cells.

## 3. 今年度の研究上の特記すべき事項

記載事項なし

## 4. 学位取得者

記載事項なし

## 5. 主催学会等

記載事項なし

## 6. 国際交流状況

- 1) J. M. D'Armiento 准教授（アメリカ合衆国，コロンビア大学医学部，麻酔学講座）と K. K. Chada 教授（アメリカ合衆国，Rutgers-Robert Wood Johnson Medical School，生化学講座）と“High mobility group A-2 が悪性腫瘍の進展に果たす機能の解明”について共同研究を行っている。
- 2) K. K. Chada 教授（アメリカ合衆国，Rutgers-Robert Wood Johnson Medical School，生化学講座）と“High mobility group A-2 が果たす歯胚・歯牙形成への役割の解明”について共同研究を行っている。

## 7. 外部・学内研究費

- 1) 平成 26 年度学術研究助成基金助成金，基盤（C）（継続），平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月，KLF 依存性細胞分化—EMT 誘導因子の同定と口腔癌進行抑制効果の解析，今井一志（代表），千葉忠成（分担），須藤 遥（分担），5,200,000 円，平成 29 年度 650,000 円。
- 2) 平成 29 年度日本歯科大学研究プロジェクト（新規），平成 29 年 5 月～平成 30 年 3 月，顎顔面形成と幹細胞 niche—歯胚形成過程における high mobility group A2 の発現・機能の解析，今井一志（代表），富山（美原）希美（分担），須藤 遥（分担），千葉忠成（分担），2,700,000 円。
- 3) 平成 29 年度学術研究助成基金助成金，研究活動スタート支援（新規），平成 29 年 10 月～平成 31 年 3 月，KLF5 遺伝子発現制御機構の解析：上皮恒常性維持に関わる新たな分子的背景の解明，富山（美原）希美（代表），2,500,000 円，平成 29 年度 1,430,000 円。

## 8. 研究業績

### A. 著 書

記載事項なし

### B. 原 著

記載事項なし

### C. 総説・解説

1. 今井一志，富山（美原）希美，山口光祐，野澤孝臣，須藤 遥，千葉忠成：口腔癌 EMT のメカニズム解明を目指して，歯学，105：36-39，2017。

### D. 報告（臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等）・紀要

記載事項なし

### E. 翻 訳

記載事項なし

### F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. 小玉裕樹，富山（美原）希美，前田宗宏，富永徳子，中原 貴，添野雄一，今井一志：マウス歯胚形成過程における HMGA2 の発現，第 49 回日本結合組織学会学術大会プログラム・抄録集，p122，2017。
2. 滑川初枝，青木春美，田中とも子，中西生美，横澤 茂，富永徳子，沼部幸博，松野智宣，千葉忠成，田谷雄二，松岡孝典，大津光寛，仲谷 寛，石田鉄光：日本歯科大学生命歯学部第 1 学年 PBL テュートリアル教育における意識調査—平成 23 年度と平成 28 年度との比較—第 36 回日本歯科医学教育学会総会および学術大会プログラム・抄録集，p122，2017。

### G. 講 演

- (1) 特別講演・シンポジウム等での講演

記載事項なし

- (2) 講演会・研究会・研修会等での講演  
記載事項なし

## 1. 所属構成員等

教 授 添野 雄一  
准 教 授 田谷 雄二  
講 師 佐藤かおり  
助 教 白子 要一  
非常勤歯科医師 飯高 輝久, 海野 力, 大久保 悟, 須藤 豊哉, 田中 克法,  
西村 一郎, 藤田 和也

## 2. 研究テーマ

- 1) 口腔病変の多次元病理形態解析 Multi-dimensional histopathological analysis of human oral lesions.
- 2) ヒト口腔癌の動物移植モデルにおける浸潤・転移機構の解析 Mechanistic understanding of tumorigenesis and metastasis of oral cancer cells in mouse xenograft model.
- 3) 顎顔面形成と発生異常 Maxillofacial development and pathogenesis of malformation.
- 4) 疾患モデルにおける non-coding RNA 分子の機能解析 Function and molecular architecture of protein non-coding RNAs in disease model mice.
- 5) 口腔病変の臨床病理診断 Clinico-pathologic diagnosis of lesions in oral cavity and related regions.

## 3. 今年度の研究上の特記すべき事項

記載事項なし

## 4. 学位取得者

記載事項なし

## 5. 主催学会等

記載事項なし

## 6. 国際交流状況

- 1) 添野雄一, Dr. Mrazek (UCLA, 米国) との「口腔粘膜疾患における Vault 複合体機能」解明に向けた研究連携.

## 7. 外部・学内研究費

- 1) 日本学術振興会科学研究費助成事業科学研究費補助金, 基盤研究 (C) (継続), 平成 27~29 年度, マウス舌筋発生における筋前駆細胞から筋サテライト細胞への分化誘導機構の解明, 田谷雄二 (代表), 添野雄一 (分担), 佐藤かおり (分担), 佐々木康成 (分担), 4,810,000 円, 平成 29 年度 1,430,000 円.
- 2) 日本学術振興会科学研究費助成事業科学研究費補助金, 基盤研究 (C) (継続), 平成 28~30 年度, 神経—癌細胞間クロストークの解析: 口腔癌細胞による神経新生誘導と抹消神経浸潤, 添野雄一 (代表), 島津徳人 (分担), 白子要一 (分担), 佐藤かおり (分担), 田谷雄二 (分担), 4,810,000 円, 平成 29 年度 1,560,000 円.
- 3) 日本学術振興会科学研究費助成事業科学研究費補助金, 基盤研究 (C) (新規), 平成 29 年度~32

年度，マウス顎顔面発生におけるリンパ管内皮細胞の移住とガイダンスの分子制御機構，佐藤かおり（代表），田谷雄二（分担），白子要一（分担），添野雄一（分担），4,810,000 円，平成 29 年度 1,300,000 円。

- 4) 日本学術振興会科学研究費助成事業科学研究費補助金，若手研究（B）（新規），平成 29 年度～30 年度，放射線照射による舌の血管・リンパ管内皮損傷と癌細胞存在下での脈管網の再構築，白子要一（代表），4,030,000 円，平成 29 年度 2,080,000 円。

## 8. 研究業績

### A. 著 書

1. 日本歯科大学病理学講座編（添野雄一監修，佐藤かおり編集）：改訂 最新口腔病理学の整理—問題解説形式チェックノート—，株式会社キタ・メディア，東京，2017，ISBN：978-4-907832-20-9.
2. 佐藤かおり（分担執筆）：2 齶蝕，p.33-52，高木 實監修，高田 隆・豊澤 悟編集，口腔病理アトラス 第3版，文光堂，東京，2018，ISBN：978-4-8306-7004-6.
3. 添野雄一（分担執筆）：CHAPTER. 4 細胞の反応性増殖 4. 創傷治癒，p.32-41，井上 孝・田中昭男・長谷川博雅編，第2版 病理学総論にもとづく口腔病理学，永末書店，京都，2018，ISBN：978-4-8160-1336-2.

### B. 原 著

記載事項なし

### C. 総説・解説

記載事項なし

### D. 報告（臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等）・紀要

1. 佐藤かおり：マウス顎顔面発生におけるリンパ管新生と分子機構の解明，科学研究費助成事業研究成果報告書，2017，<https://kaken.nii.ac.jp/grant/KAKENHI-PROJECT-26462799/26462799seika.pdf>.

### E. 翻 訳

記載事項なし

### F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. 辺見卓男，柳下寿郎，佐藤かおり，田谷雄二，添野雄一：Ki-67 陽性核の上皮内局在様式に基づく舌粘膜上皮の病態評価，日本病理学会会誌，106（1）：p.349（3-G-10），2017.
2. 小玉裕樹，美原希美，前田宗宏，富永徳子，中原貴，添野雄一，今井一志：マウス歯胚形成過程における HMGA2 の発現，第 49 回日本結合組織学会学術大会プログラム：p.109（P03），2017. Kodama Y, Mihara N, Maeda M, Tominaga N, Nakahara T, Soeno Y, Imai K : Expression of HMGA2 in mouse tooth germ development, JSMBM2017 PROGRAM BOOK., p.109（P03），2017.
3. Taya Y, Sasaki Y, Shirako Y, Sato K, Soeno Y : Tongue morphogenesis through epithelial-mesenchymal interaction in mouse embryos, Mech Develop, 145 (Suppl) :S153, 2017, doi: 10.1016/j.mod.2017.04.433.
4. 滑川初枝，青木春美，田中とも子，中西生美，横澤 茂，富永徳子，沼部幸博，松野智宣，千葉忠成，田谷雄二，松岡孝典，大津光寛，仲谷 寛，石田鉄光：日本歯科大学生命歯学部第1学年 PBL テュートリアル教育における意識調査—平成 23 年度と平成 28 年度との比較—，第 36 回日本歯科医学教育



学会総会および学術大会プログラム・抄録集, p.122 (P1-04), 2017.

5. 辺見卓男, 飯田昌志, 北詰栄里, 莊司洋文, 岩田 洋, 添野雄一, 出雲俊之, 蛭田啓之, 柳下寿郎: 舌下面部粘膜下病変, 第 28 回日本臨床口腔病理学会総会・学術大会プログラム・抄録集, p. 62 (C-6), 2017.

Henmi T, Iida M, Kitadume E, Shoji H, Iwata H, Soeno Y, Izumo T, Hiruta N, Yagishita H : A case of submucosal lesion of the inferior part of the tongue, The 28<sup>th</sup> Annual Meeting of the Japanese Society of Oral Pathology PROGRAM BOOK, p.62 (C-6), 2017.

6. Taya Y, Sasaki Y, Sato K, Soeno Y : Tongue myogenic cell differentiation regulated by Nfix and its related factors in embryonic mice, J. Oral Biosci., 59 (Suppl.) : 484 (No. P2-86), 2017.
7. 辺見卓男, 莊司洋文, 飯田昌志, 北詰栄里, 岩田 洋, 林 宗廣, 添野雄一, 出雲俊之, 岡部貞夫, 蛭田啓之, 柳下寿郎: 舌下面部に生じた血管内筋膜炎の一例, 平成 29 年度日本歯科大学歯学会第 4 回ウィンターミーティング プログラム・抄録集, 11 (No.1-3), 2017.

Henmi T, Shoji H, Iida M, Kitadume E, Iwata H, Hayashi M, Soeno Y, Izumo T, Okabe S, Hiruta N, Yagishita H : A case of intravascular fasciitis of the inferior part of the tongue, 平成 29 年度日本歯科大学歯学会第 4 回ウィンターミーティング プログラム・抄録集, 11 (No.1-3), 2017.

8. Taya Y, Sato K, Shirako Y, Soeno Y : Regulatory switches of commitment from myogenic progenitors into myoblasts or satellite cells in the development of mouse tongue, 平成 29 年度日本歯科大学歯学会第 4 回ウィンターミーティング プログラム・抄録集, 12 (No.2-1), 2017.
9. Shirako Y, Taya Y, Sato K, Soeno Y : Lymphangiogenic dynamics in oral cancer microenvironment, 平成 29 年度日本歯科大学歯学会第 4 回ウィンターミーティング プログラム・抄録集, 13 (No.2-3), 2017.
10. 呉 亜欣, 倉治竜太郎, 田谷雄二, 伊藤 弘, 沼部幸博: ラット実験的歯周炎におけるテアフラビンの組織炎症およびコッ吸収抑制効果に関する研究, 日本歯周病学会会誌, J. Jpn. Soc. Periodontol., 59 : 39 (P-067 [2504]), 2017.  
Wu Y-H, Kuraji R, Taya Y, Ito H, Numabe Y : The effects of theaflavins on tissue inflammation and bone resorption on experimental periodontitis in rats, 日本歯周病学会会誌, J. Jpn. Soc. Periodontol., 59 : 39 (P-067 [2504]), 2017.

## G. 講演

### (1) 特別講演・シンポジウム等での講演

1. 田谷雄二: 発生から顎再生を考える一口蓋の発生と口蓋裂の発症機構―, 第 2 回イモリ型の臓器再生フォーラム, 東京都, 2018 年 2 月 16 日.

### (2) 講演会・研究会・研修会等での講演

記載事項なし

## 1. 所属構成員等

主 任 教 授 古西 清司

教 授 高橋 幸裕

講 師 才木桂太郎, 田代有美子

非 常 勤 講 師 三浦 聡之, 外崎 美香, 中田 智之, 安部 佐

## 2. 研究テーマ

- 1) 慢性歯周炎原因菌の病原因子に関する遺伝学的, 生化学的研究 Genetical and biochemical study of virulence factors in bacteria associated with chronic periodontitis.
- 2) 侵襲性歯周炎原因菌の病原因子に関する遺伝学的, 生化学的研究 Genetical and biochemical study of virulence factors in bacteria associated with aggressive periodontitis.
- 3) 口腔レンサ球菌菌体表層抗原の病原性に関する分子生物学的解析 Molecular biological analysis of surface antigen of oral streptococci for pathogenicity.

## 3. 今年度の研究上の特記すべき事項

- 1) 古西清司主任教授が4月から大阪大学先導的学際研究機構の招へい教授になった。

## 4. 学位取得者

記載事項なし

## 5. 主催学会等

記載事項なし

## 6. 国際交流状況

記載事項なし

## 7. 外部・学内研究費

- 1) 科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金），基盤研究（C）（新規），平成 29～31 年度，免疫抑制剤服用小児における歯肉増殖症の発症メカニズムの解明と予防プロトコルの確立，島津美咲（代表），高橋幸裕（分担），島津徳人（分担），荏部洋行（分担），4,550,000 円，平成 29 年度 1,560,000 円。

## 8. 研究業績

### A. 著 書

記載事項なし

### B. 原 著

記載事項なし

### C. 総説・解説

1. 古西清司, 高橋幸裕, 才木桂太郎, 田代有美子, 河原井武人: 感染微生物学実習書, 日本歯科大学, 東京, 2017 年.

### D. 報告(臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等)・紀要

記載事項なし

### E. 翻 訳

記載事項なし

### F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. 才木桂太郎, 古西清司: *Porphyromonas gingivalis* の増殖阻害性ペプチド, 第 59 回歯科基礎医学会学術大会, J. Oral Biosci., 59 (Suppl.): p.503, 2017.
2. 田代有美子, 高橋幸裕, 古西清司: *Streptococcus gordonii* は単球を樹状細胞へと分化誘導する, 第 59 回歯科基礎医学会学術大会, J. Oral Biosci., 59 (Suppl.): p.498 (P2-101), 2017.
3. Konishi K, Abe T, Kawai T: Enzymatic kinetics of the quinol peroxidase of an aggressive periodontopathic bacterium, International Union of Microbiological Societies Congress 2017 (Sands Expo & Convention Centre, Singapore), 18<sup>th</sup> of July, Program book, PO108, 2017.
4. Urano-Tashiro Y, Takahashi Y, Oguchi R, Konishi K: Two arginine residues of *Streptococcus gordonii* Hsa essential for the binding to host cell receptors, International Union of Microbiological Societies Congress 2017 (Sands Expo & Convention Centre, Singapore), 19<sup>th</sup> of July, Program book, PO219, 2017.
5. Takahashi Y, Oguchi R, Shimazu K, Urano-Tashiro Y, Kawai T, Karibe H, Konishi K: Detection of *Streptococcus gordonii* hsa gene and expression of Hsa adhesin in wild type strains, International Union of Microbiological Societies Congress 2017 (Sands Expo & Convention Centre, Singapore), 19<sup>th</sup> of July, Program book, PO189, 2017.

### G. 講 演

- (1) 特別講演・シンポジウム等での講演

記載事項なし

- (2) 講演会・研究会・研修会等での講演

1. 高橋幸裕: 「安全な遺伝子組換え生物取扱いのために」, 遺伝子組換え実験従事者講習会, 日本歯科大学生命歯学部 (2017 年 4 月 13 日, 2017 年 11 月 28 日, 2018 年 2 月 22 日).

## 1. 所属構成員等

教 授 筒井 健夫

講 師 肖 黎

助 教 鳥居 大祐, 小林 朋子

客員教授等 石川 祥一, 本田 健, 福田 真也

非常勤講師 大山 正芳, 折笠 博之, 笠島 生也, 小林 輝生, 八木 英一,  
熊倉 伸一, 金井友起子, 三橋 昭子, 岩崎 直弥, 熊田 光利,  
稲葉 智弘, 石川 葉仁

大学院生 松井美紀子

## 2. 研究テーマ

- 1) 歯髄幹細胞の局在と機能解析 Localization of dental pulp stem cells and their function.
- 2) 歯・歯髄の再生技術開発 Development of the methods of regeneration of teeth and dental pulps.
- 3) 歯髄細胞における薬剤感受性とホルモン応答解析 Analysis of the response of medicines and hormones to dental pulp cells.

## 3. 今年度の研究上の特記すべき事項

- 1) 筒井健夫：2017年2月10, 11日に日本歯科大学生命歯学部にて開催された日本組織培養学会培養講習会コースIの細胞培養指導士として準備および教授した。

## 4. 学位取得者

- 1) 松井美紀子：CD146陽性ヒト歯髄幹細胞は石灰化形成および象牙質／歯髄様複合体形成を促進する，平成30年2月23日，日本歯科大学。

## 5. 主催学会等

記載事項なし

## 6. 国際交流状況

- 1) 米国国立衛生研究所(NIH)の国立歯科頭蓋研究所(NIDCR)の Pamela Robey 博士らと共同研究を行っている。

## 7. 外部・学内研究費

- 1) 平成29年度生命歯学部公募研究(研究プロジェクト)(3)(新規)，平成29年度，歯髄細胞バンクを基盤とした再生医療実現化プロジェクト(Version II)，筒井健夫(代表)，八重垣健(分担)，中原 貴(分担)，石川 博(分担)，今井敏夫(分担)，5,300,000円。
- 2) 京都大学霊長類研究所，共同利用・共同研究(新規)，平成29年度，マカク歯髄細胞三次元培養構築体移植による歯髄再生，筒井健夫(代表)，鳥居大祐(分担)，小林朋子(分担)，松井美紀子(分担)，鈴木樹理(分担)，96,000円。
- 3) 日本学術振興会科学研究費助成事業科学研究費補助金，基盤研究(C)(新規)，平成29～31年度，アルツハイマー病三次元病態モデルの構築とヒト歯髄幹細胞を用いた新規治療法の開発，肖 黎

- (代表), 佐伯周子 (分担), 岡村 尚 (分担), 4,680,000 円, 平成 29 年度 1,200,000 円.
- 4) 日本学術振興会科学研究費助成事業科学研究費補助金, 基盤研究(C) (新規), 平成 29~31 年度, レーザー照射による歯髄一血管・神経相互作用へ及ぼす影響の解明, 増田宜子 (代表), 友村美根子 (分担), 肖 黎 (分担), 4,420,000 円, 平成 29 年度 2,340,000 円.
  - 5) 特定非営利活動法人 日本老化防御医科学センター研究費, (新規), 平成 29 年 6 月 29 日~平成 30 年 6 月 28 日, 水素歯磨き粉/ゲルを用いた歯周病の予防治療効果の研究, 肖 黎 (代表), 250,000 円+水素水製造装置提供, 平成 29 年度 751 円.
  - 6) 日本学術振興会科学研究費助成事業科学研究費補助金, 基盤研究(C) (新規), 平成 29~31 年度, 新規マーカー解析による前駆細胞の機能に着目した歯髄再生メカニズムの解明, 小林朋子 (代表), 那須優則 (分担), 筒井健夫 (分担), 4,680,000 円, 平成 29 年度 1,203,572 円.

## 8. 研究業績

### A. 著 書

1. 筒井健夫 (分担執筆): 医薬品適用上の注意 (ライフステージと薬物), 80-84, 大谷啓一, 現代歯科薬理学 第 6 版, 株式会社医歯薬出版社, 東京, 2018, ISBN : 978-4-263-45811-2.

### B. 原 著

1. Xiao L, Ide R, Saiki C, Kumazawa Y, Okamura H: Human dental pulp cells differentiate toward neuronal cells and promote neuroregeneration in adult organotypic hippocampal slices in vitro, ◎☆Int. J. Mol. Sci., 2017 ; 18 (8) : 1745, doi : 10.3390/ijms18081745.
2. \*Matsui M, Kobayashi T, Tsutsui TW: CD146 positive human dental pulp stem cells promote regeneration of dentin/pulp-like structures, ◎☆Hum. Cell, 2018;31(2):127-138, doi:10.1007/s13577-017-0198-2. (学位論文)

### C. 総説・解説

1. Sakagami H, Xiao L, Dai Q, Oishi R, Kanzaki T : Importance of international communication capability (4) —difference in the palatability of Chinese cuisine between Japan and China—, New Food Indust., 59 (6) : 71-93, 2017.
2. Sakagami H, Xiao L, Dai Q, Oishi R, Kanzaki T, Tsuchida Y : The importance of international communication skills (5) How can we not be left behind in the times, New Food Indust., 59 (11) : 69-81, 2017.

### D. 報告 (臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等)・紀要

1. 筒井健夫, 小林朋子, 鳥居大祐, 松井美紀子 (共著), 鈴木樹理 (所内対応): マカク歯髄細胞三次元培養構築体移植による歯髄再生, 霊長類研究所年報, Vol.47, 104, 2018.
2. 那須優則, 三橋扶佐子, 筒井健夫 (共著): 研究力増進プログラム (18) 細胞培養基礎実習 テキストと報告書, 2017 年 12 月 20 日.

### E. 翻 訳

記載事項なし

## F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. 宮坂孝弘, 北原和樹, 小林さくら子, 菊池憲一郎, 新谷明一, 柴田 潔, 佐藤 勉, 内川喜盛, 大津光寛, 小川智久, 筒井健夫, 沼部幸博, 羽村 章: チーム基盤型学習法 (TBL) を活用した禁煙支援教育への取り組み, 第 35 回日本歯科医学教育学会総会及び学術大会プログラム・抄録集, 134, 2017.
2. 肖 黎, 三羽信比古: 水素水はヒト唾液・尿の抗酸化力を向上し, 紫外線 A 及び過酸化水素によるヒト歯肉線維芽細胞の酸化ストレス障害およびコラーゲン合成低下を防御する, J. Oral Biosci., 59 (Suppl.): 215, 2017.
3. 鳥居大祐, 小林朋子, 松井美紀子, 筒井健夫: Crouzon 症候群患者に由来する歯髄幹細胞における硬組織形成関連遺伝子の発現解析, Jpn. J. Tissue Cult. Dent. Res., 27 (1): 23-24, 2017.
4. 鳥居大祐, 小林朋子, 松井美紀子, 堀江哲郎, 筒井健夫: Scleraxis-knockout ヒト歯根膜細胞における遺伝子発現解析, 平成 29 年度日本歯科大学歯学会 第 4 回ウインターミーティング プログラム・抄録集, 18, 2017.
5. 小林朋子, 松井美紀子, 鈴木樹理, 筒井健夫: 自発性に不死化したアカゲザル由来乳歯歯髄細胞の細胞特性解析, J. Oral Biosci., 59 (Suppl.): 424, 2017.
6. 小林朋子, 松井美紀子, 鈴木樹理, 筒井健夫: アカゲザル乳歯歯髄由来の自発性不死化細胞における分化能解析, 平成 29 年度日本歯科大学歯学会 第 4 回ウインターミーティング プログラム・抄録集, 18, 2017.

## G. 講 演

### (1) 特別講演・シンポジウム等での講演

記載事項なし

### (2) 講演会・研究会・研修会等での講演

1. 筒井健夫, 佐伯周子: 動物実験の基礎知識, 平成 29 年度第 1 回動物実験教育訓練講習会, 日本歯科大学生命歯学部 (東京都), 2017 年 4 月 20 日.
2. 筒井健夫, 佐伯周子: 動物実験の基礎知識, 平成 29 年度第 2 回動物実験教育訓練講習会, 日本歯科大学生命歯学部 (東京都), 2017 年 7 月 26 日.
3. 筒井健夫, 佐伯周子: 動物実験の基礎知識, 平成 29 年度第 3 回動物実験教育訓練講習会, 日本歯科大学生命歯学部 (東京都), 2017 年 12 月 4 日.
4. 筒井健夫, 佐伯周子, 那須優則, 鈴木さつき, 戸円智幸, 三橋扶佐子, 深田哲也, 片柳亮太: 平成 29 年度第 1 回動物実験実技講習会, 日本歯科大学生命歯学部 (東京都), 2017 年 5 月 18 日.
5. 筒井健夫, 佐伯周子, 那須優則, 深田哲也, 片柳亮太: 平成 29 年度第 2 回動物実験実技講習会, 日本歯科大学生命歯学部 (東京都), 2017 年 8 月 8 日.
6. 筒井健夫, 江藤哉子, 那須優則, 戸円智幸, 三橋扶佐子, 鳥居大祐, 小林朋子, 松井美紀子: 研究力増進プログラム (18), 日本歯科大学生命歯学部 (東京都), 2017 年 10 月 18, 19 日, 日本歯科大学生命歯学部 (東京都), 2017 年 10 月 23, 24 日, 日本歯科大学生命歯学部 (東京都), 2017 年 10 月 26, 27 日.
7. 筒井健夫: 幹細胞の潜在能力～歯科医療応用へ向けて～, 大学院セミナー, 日本歯科大学生命歯学部 (東京都), 2017 年 11 月 30 日.

## 1. 所属構成員等

教 授 八重垣 健, 福田 雅臣

准 教 授 田中とも子

講 師 伊井 久貴, 高野 りや

非 常 勤 講 師 鴨田 博司, 西田 良和, 市川 信一, 坂口 武洋, 坂口 早苗,  
一宮 頼子, 松丸 二郎, 小黒 章, 岩上 智彦, 本間 篤子,  
鴨井 初子, 佐藤 勝弘, 加賀美毅樹, 合地 俊治, 新原 英嗣,  
長谷川嘉一, 弥郡 彰彦, 奥平 晴子, 福井 直人, 中曽根いずみ,  
佐藤 裕司, 岩上 徳志, 岡田 実緒

大 学 院 生 Hiromi Yagi Mendoza, 横山 知美

## 2. 研究テーマ

- 1) ヒト歯髄幹細胞からの臓器分化と再生医療 Regenerative Medicine : differentiation protocols of dental pulp stem cells to several organs.
- 2) 小児の生活習慣病予防のためのヘルスプロモーション Health promotion for preventing life style disease in children.
- 3) 学校保健研究 Study on school health.
- 4) 硫化水素の発癌性・歯周病原性・細胞分化誘導に関する研究 Study on carcinogenesis, periodontal pathogenesis and cell differentiation of hydrogen sulfide.
- 5) 骨芽細胞・破骨細胞の情報伝達機構におよぼす硫化水素の影響 Effect of hydrogen sulfide on signal transduction mechanisms of osteoblastic and osteoclastic cells.
- 6) 口臭治療法開発に関する研究 Study on the development of halitosis treatments.
- 7) 高齢者・小児の口腔機能に関する研究 Study on the oral functions in elderlies and children.

## 3. 今年度の研究上の特記すべき事項

- 1) 学校法人日本歯科大学：八重垣健, 石川 博, 平成 29 年 6 月 13 日, 国際出願番号：PCT/JP2017/030496, 肝臓組織再生用組成物.
- 2) 学校法人日本歯科大学：八重垣健, 石川 博, 平成 29 年 8 月 25 日, 国際出願番号：PCT/JP2017/030498, 非アルコール性脂肪肝疾患の非ヒトモデル.

## 4. 学位取得者

記載事項なし

## 5. 主催学会等

- 1) 第 2 回社会歯科学会総会・学術大会, 東京, 2017 年 6 月 11 日, 大会長：福田雅臣.

## 6. 国際交流状況

- 1) 八重垣健：アメリカ歯科医師会科学顧問留任.
- 2) 八重垣健：University of British Columbia, 歯内療法学主任・Markus Haapasalo 教授と歯髄幹細胞分化の共同研究を継続している.

- 3) 伊井久貴：Western University, Department of Physiology and Pharmacology, Jeffly Dixon 教授・Cheryle Séguin 助教授と椎間板における異所性石灰化の共同研究を継続している。

## 7. 外部・学内研究費

- 1) 平成 29 年度医療研究開発推進事業費補助金，橋渡し研究戦略的推進プログラム（シーズ B）（新規），平成 29 年 10 月～30 年 3 月，ヒト歯髄幹細胞を用いた肝不全に対する肝再生治療法の開発，八重垣健（代表），50,496,000 円。
- 2) 平成 29 年度日本学術振興会科学研究費補助金，基盤研究（C）（継続），平成 27 年 4 月～30 年 3 月，小児のオーラルヘルスプロモーション：嫌気的人工口腔装置による歯周疾患予防法の開発，田中とも子（代表），八重垣健（分担），4,550,000 円，平成 29 年度 2,000,000 円。
- 3) 平成 29 年度日本学術振興会科学研究費補助金，挑戦的萌芽（継続），平成 28 年 4 月～29 年 3 月，再生歯肉による歯肉溝モデルの開発：動物実験代わる前臨床研究，八重垣健（代表），田中とも子（分担），3,380,000 円，平成 29 年度 1,560,000 円。
- 4) 平成 29 年度日本学術振興会科学研究費補助金，若手研究（B）（継続），平成 28 年～30 年，高齢者の健康寿命延伸をめざす第一次・二次予防での歯槽骨再生法の開発，伊井久貴（代表），3,900,000 円，平成 29 年度 1,100,000 円。

## 8. 研究業績

### A. 著 書

1. 福田雅臣（分担）：医師法，59，死体・解剖に関する法律，67-68，医療関係職種，71-73，診療録・医療記録，88-91，診断書，92-94，スタンダード社会歯科学 第 7 版，学建書院，東京，2016，ISBN：978-4-7624-5644-1。
2. 福田雅臣（共著）：歯と口腔の健康づくり推進計画，153-184，豊島区健康プラン 平成 30 年度～平成 35 年度（2018～2023），豊島区健康プラン推進会議，東京，2018。

### B. 原 著

記載事項なし

### C. 総説・解説

1. 福田雅臣：生涯にわたる健康管理の基盤となる歯・口の健康づくりの進め方—歯・口の健康づくりを目指した学校保健活動の進め方—，平成 29 年度全国学校保健・安全研究大会講演集，86-88，平成 29 年度全国学校保健・安全研究大会三重県実行委員会事務局，三重県，2017。
2. 福田雅臣：動物の歯と食べ物の関係 問題編，公益財団法人 8020 推進財団会誌 はち・まる・にい・まる，No.17：23，2018。
3. 福田雅臣：動物の歯と食べ物の関係 解答編，公益財団法人 8020 推進財団会誌 はち・まる・にい・まる，No.17：99，2018。
4. 倉治ななえ，福田雅臣：歯みがき剤フッ素濃度ガイド，歯科衛生士，42：1-2，2018。

### D. 報告（臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等）・紀要

記載事項なし



## E. 翻 訳

記載事項なし

## F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. 犬山依志行, 南ひかる, 伊井久貴, 福田雅臣: フッ化物配合歯磨剤の適正使用量に及ぼす影響 第2報 個人の使用量の使用量のばらつき要因に関する研究, 口腔衛生学会雑誌, 67:138, 2017.
2. 北見英理, 戒田俊之, 福田雅臣: 口腔機能健康測定結果と質問調査との関連性に関する研究 その2 年齢階級別特性について, 日本公衆衛生学会雑誌, 64 (特別付録): 567, 2017.
3. 福田雅臣, 川戸貴行, 高田 靖, 山本秀樹, 山崎一男: 東京都歯科医師会が実施する歯科健診受診者の歯科保健状況に関する研究, 日本公衆衛生学会雑誌, 64 (特別付録): 570, 2017.
4. 福田雅臣, 田中英一, 前野正夫, 戸田芳雄, 刈部 充, 町田太郎, 三ツ木浩, 平澤規子, 高橋宏明, 今井健二, 倉治ななえ, 丸山進一郎: 「生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくり推進事業」の評価に関する研究 その3 平成27・28年事業の評価学校保健研究, 59 (別冊): 100, 2017.
5. 滑川初枝, 青木春美, 田中とも子, 中西生美, 横澤 茂, 富永徳子, 沼部幸博, 松野智宣, 千葉忠成, 田谷雄二, 松岡孝典, 大津光寛, 仲谷 寛, 石田鉄光: 日本歯科大学生命歯学部第1学年, PBL テュートリアル教育における意識調査—平成23年度と平成28年度との比較—, 第36回日本歯科医学教育学会総会および学術大会プログラム・抄録集, 122 (P1-04), 2017.
6. 田中とも子, 八重垣健: 歯周病原細菌による人工バイオフィルム形成に関する基礎的研究, 口腔衛生学会雑誌, 67:167, 2017.

## G. 講 演

### (1) 特別講演・シンポジウム等での講演

1. 福田雅臣: “噛む体験学習” から伝えられるものとは, アクティブラーニングを使って歯科保健事業をして見ませんか, 第66回日本口腔衛生学会・総会シンポジウム, 山形, 2017年6月1日.
2. 福田雅臣: 生涯にわたる健康管理の基盤となる歯・口の健康づくりの進め方, 課題別研究協議会第5課題教育講演, 平成29年度全国学校保健・安全研究大会, 三重, 2017年11月17日.
3. Yaegaki K: Transplantation of hepatocyte like cells derived from human tooth into cirrhosis rat model, Keynote, 7<sup>th</sup> International Conference on Tissue Engineering & Regenerative Medicine, Barcelona Spain, October 3 2017.

### (2) 講演会・研究会・研修会等での講演

1. 福田雅臣: 「いい歯でよく噛みおいしく食べよう」, 足立区歯と口の健康セミナー, 東京, 2017年11月28日.
2. 福田雅臣: おいしく食べるための口の働き～食べる楽しみを考えてみよう～, 所沢市健康づくり講演会, 埼玉, 2018年2月8日.
3. 南ひかる, 伊井久貴, 福田雅臣: フッ化物配合歯磨剤の使用量に及ぼす影響 第1報, 平成29年度歯学会ウインターミーティング, 2017年12月9日.
4. 犬山依志行, 伊井久貴, 福田雅臣: フッ化物配合歯磨剤の使用量に及ぼす影響 第2報, 平成29年度歯学会ウインターミーティング, 2017年12月9日.

## 1. 所属構成員等

教 授 宮坂 平  
准 教 授 青木 春美  
助 教 青柳 有祐, 石田 祥己 (併任)  
客 員 教 授 等 大竹 康成, 須田 勇己  
客 員 准 教 授 清水 昭博  
非 常 勤 講 師 高木 邦明, 長谷川有紀, 三浦 大輔 (併任)  
事 務 職 員 丸田久美子  
大 学 院 生 原田 唯生, 渡邊 慧

## 2. 研究テーマ

- 1) 3D プリンタの歯科応用に関する研究 Studies on the Dental application of 3D printers.
- 2) CAD/CAM の歯科応用に関する研究 Dental application of CAD/CAM.
- 3) 低収縮性低粘性モノマーを用いたコンポジットレジンの開発 Development of composite resin using novel low shrinking and low viscous monomer.
- 4) レーザーを用いた歯科材料の寸法変化測定 Dimensional change of dental materials measured by laser sensor.
- 5) 貴金属クラスターの床用レジンへの応用 Application of noble metal cluster to the denture base resin.
- 6) インプラント・マグネットデンチャーの維持力についての研究 Studies on retentive force of implant magnet denture.
- 7) 矯正用ブラケットの歯質接着挙動の研究 Adhesive behavior of orthodontic bracket to human teeth.
- 8) 6 軸マイクロセンサーを用いた矯正力の測定 Measurement of the orthodontic force using 6-axial micro-sensor.
- 9) メソポーラスシリカを用いたコンポジットレジンの開発 Development of dental composites using meso-porous silica.
- 10) 表面滑沢硬化材を適応した床用レジン の物性に関する研究 Physical and mechanical properties of surface hardening reagent applied denture base resin.
- 11) 表面滑沢硬化材を適応したコンポジットレジン の物性に関する研究 Physical and mechanical properties of surface hardening reagent applied composite resin.
- 12) 光触媒を用いた抗菌性歯科材料の開発 Development of antibacterial dental materials using light induced catalyst.
- 13) 歯科用合金の腐食および変色に関する研究 Studies of corrosion and tarnish of dental alloys.
- 14) 機能水の歯科利用 Dental application of functional waters.

## 3. 今年度の研究上の特記すべき事項

記載事項なし

## 4. 学位取得者

記載事項なし

## 5. 主催学会等

- 1) 第 69 回日本歯科理工学会術講演会, 日本歯科大学, 東京, 2017 年 4 月 15・16 日, 宮坂 平.

## 6. 国際交流状況

記載事項なし

## 7. 外部・学内研究費

- 1) 科学研究費補助金, 基盤研究 (C) (継続), 2016~2018 年, 3D プリンターによるブリッジパターンの製作と寸法精度に関する研究, 宮坂 平 (代表), 青木春美 (分担), 青柳有祐 (分担), 石田祥己 (分担), 4,680,000 円, 平成 29 年度 900,000 円.
- 2) 株式会社松風, 委託研究 (新規), 平成 28 年度, 異なる曲げ試験法によるハイブリットレジンブロックの強度の評価に関する研究, 宮坂 平 (代表), 石田祥己 (分担), 青木春美 (分担), 青柳有祐 (分担), 三浦大輔 (分担), 333,333 円.

## 8. 研究業績

### A. 著 書

記載事項なし

### B. 原 著

1. \*Miura D, Miyasaka T, Aoki H, Aoyagi Y, Ishida Y : Correlations among bending test methods for dental hard resins, ☆◎Dent Mater J., 2017 ; 36 (4) : 491-496, doi : 10.4012/dmj.2016-304. (学位論文)
2. 鈴木 巖, 青柳有祐, 宮坂 平, 大作武彦, 青木春美, 石田祥己, 三浦大輔 : 新規矯正用ジルコニアブラケットの接着性について, ○日歯理工誌, 2018;37(1):49-57, doi:10.18939/jsdmd.37.1\_49. Suzuki I, Aoyagi Y, Miyasaka T, Daisaku T, Aoki H, Ishida Y, Miura D (7<sup>th</sup>) (7authors) : Adhesion of a novel orthodontic zirconia bracket, ○J. J. Dent Mater, 2018 ; 37 (1) : 49-57, doi : 10.18939/jsdmd.37.1\_49.

### C. 総説・解説

1. 石田祥己 : 3D プリンターの歯科への進出, 歯学, 102 巻 (秋季特集号) : 9-12, 2017.

### D. 報告 (臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等)・紀要

記載事項なし

### E. 翻 訳

記載事項なし

### F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. 石田祥己, 宮坂 平, 青木春美, 青柳有祐, 三浦大輔 : 加速劣化が硬質レジンの曲げ強さに及ぼす影響, 日歯理工誌, 36 (2) : 138, 2017.
2. 青柳有祐, 宮坂 平, 青木春美, 石田祥己, 三浦大輔 : 新規低粘性低収縮性モノマーを用いたコンポジットレジンの開発, 日歯理工誌, 36 (2) : 140, 2017.

3. 西田太郎, 石田祥己, 小倉陽子, 前田宗宏, 宮坂 平, 勝海一郎: ガイドを使用した下顎切歯の髓室開拡位置による根管湾曲の変化, 2017 年度日本歯科保存学会春季学術大会 (第 146 回) プログラムおよび講演抄録集, 123, 2017.
4. 滑川初枝, 青木春美, 田中とも子, 中西生美, 横澤 茂, 富永徳子, 沼部幸博, 松野智宣, 千葉忠成, 田谷雄二, 松岡孝典, 大津光寛, 仲谷 寛, 石田鉄光: 日本歯科大学生命歯学部第 1 学年 PBL テュートリアル教育における意識調査—平成 23 年度と平成 28 年度との比較—, 第 36 回日本歯科医学教育学会総会および学術大会プログラム・抄録集, 122, 2017.
5. 石田祥己, 宮坂 平, 青木春美, 青柳有祐, 丸田久美子, 大竹康成, 須田勇己, 清水昭博, 高木邦明, 長谷川有紀, 三浦大輔: 歯科理工学実習における機器更新後の測定値の解析—加熱重合レジンの加温方法を変更が結果に及ぼす影響—, 第 36 回日本歯科医学教育学会総会および学術大会プログラム・抄録集, 141, 2017.
6. 青木春美, 宮坂 平, 青柳有祐, 石田祥己, 丸田久美子, 大竹康成, 須田勇己, 清水昭博, 高木邦明, 長谷川有紀, 三浦大輔: 歯科医師国家試験問題に対応するための歯科理工学実習の役割, 第 36 回日本歯科医学教育学会総会および学術大会プログラム・抄録集, 141, 2017.
7. 青木春美, 宮坂 平, 青柳有祐, 石田祥己, 三浦大輔, 原田唯生, 渡邊 慧: コンポジットレジンに適用した表面滑沢硬化材の耐水性, 日歯理工誌, 36 (5): 322, 2017.
8. 原田唯生, 宮坂 平, 石田祥己, 渡邊 慧, 青木春美, 青柳有祐, 三浦大輔: レーザー積層造形で作製したチタン試料の機械的性質, 日歯理工誌, 36 (5): 343, 2017.
9. 石田祥己, 宮坂 平, 青木春美, 青柳有祐, 三浦大輔, 原田唯生, 渡邊 慧: ブリッジ支台模型の 3D スキャン精度に関する研究, 日歯理工誌, 36 (5): 346, 2017.
10. 三浦大輔, 宮坂 平, 青木春美, 青柳有祐, 原田唯生, 渡邊 慧, 石田祥己: PEEK 樹脂の曲げ挙動による歯科応用の検討, 日歯理工誌, 36 (5): 376, 2017.
11. 青柳有祐, 宮坂 平, 青木春美, 石田祥己, 三浦大輔, 原田唯生, 渡邊 慧: トリス 2-アクリロキシエチルイソシアヌレートを用いたコンポジットレジンの機械的性質, 日歯理工誌, 36 (5): 377, 2017.
12. 渡邊 慧, 宮坂 平, 石田祥己, 原田唯生, 青木春美, 青柳有祐, 三浦大輔: 歯科用コンポジットレジンとセラミックスの落錘衝撃試験法に関する研究, 日歯理工誌, 36 (5): 409, 2017.
13. 西田太郎, 石田祥己, 小倉陽子, 前田宗宏, 宮坂 平, 五十嵐勝: ガイドを使用した下顎切歯髓室開拡時の歯質切削率の比較, 2017 年度日本歯科保存学会春季学術大会 (第 147 回) 第 19 回日韓歯科保存学会学術大会プログラムおよび講演抄録集, 176, 2017.

## G. 講演

### (1) 特別講演・シンポジウム等での講演

1. 青木春美: ヒト天然歯ならびに各種歯科材料に対する次亜塩素酸水の影響, シンポジウム「歯科領域における微酸性電解水の歴史と未来」, 第 16 回日本機能水学会学術大会, 鶴見大学(神奈川), 2017 年 11 月 18 日.

### (2) 講演会・研究会・研修会等での講演

記載事項なし

## 1. 所属構成員等

教 授 都築 民幸  
准 教 授 岩原 香織  
客 員 教 授 等 佐藤 喜宣  
非 常 勤 講 師 高木 徹也, 北村 修

## 2. 研究テーマ

- 1) 歯科における災害医療 Disaster dentistry.
- 2) 災害時の歯科医療救護（トリアージ, 応急救護, 個人識別） Dental assistance at mass disaster (First triage, Emergency relief and first aid treatment, Personal dental identification).
- 3) 歯科的個人識別と多数死体発生事案の取扱い Management of personal dental identification for multiple fatality incidence.
- 4) 生前歯科情報提供の取り扱い Management for providing of ante-mortem dental information.
- 5) 鑑定人証言のための文書化 Documentation for expert witness testimony.
- 6) 身体的虐待とネグレクトの発見, 虐待防止, 子育て支援 Recognition of physical abuse and neglect, prevention of abuse and child care support.
- 7) 虐待の歯科所見 Dental findings of abuse and maltreatment.
- 8) 咬傷の色彩学的評価 Spectrophotometric evaluation of the bite mark.
- 9) 虐待における多職種間の連携 Cooperation between multi occupational categories in abuse.
- 10) 歯科法医学に関する教育手法 Education strategy on forensic dentistry.

## 3. 今年度の研究上の特記すべき事項

記載事項なし

## 4. 学位取得者

記載事項なし

## 5. 主催学会等

記載事項なし

## 6. 国際交流状況

記載事項なし

## 7. 外部・学内研究費

- 1) 日本学術振興会科学研究費助成事業科学研究費補助金, 基盤研究 (C) (継続), 平成 27～29 年度, 遺族感情に配慮した歯科的個人識別（身元確認）システムの構築, 岩原香織（代表）, 都築民幸（分担）, 4,810,000 円, 平成 29 年度 1,820,000 円.
- 2) 平成 29 年度神奈川県公衆衛生協会調査研究助成金, 児童虐待に関する児童相談所・児童施設での実態調査, 鈴木駿介（代表）, 都築民幸（分担）, 岩原香織（分担）, 1,038,000 円.

## 8. 研究業績

### A. 著 書

- 1) 岩原香織 (分担執筆) : 第2章 死体現象 7 エンバーミング, 遺体衛生保全, 22-24, 高橋雅典 監修, 都築民幸, 山田良広, 櫻田宏一 編集, 法歯科医学, 永末書店, 京都, 2017, ISBN : 978-4-8160-1333-1.
- 2) 都築民幸 (分担執筆) : 第3章 損傷 8 咬傷, 咬痕, 37-39, 高橋雅典 監修, 都築民幸, 山田良広, 櫻田宏一 編集, 法歯科医学, 永末書店, 京都, 2017, ISBN : 978-4-8160-1333-1.
- 3) 都築民幸 (分担執筆) : コラム 被害者の反撃, 39, 高橋雅典 監修, 都築民幸, 山田良広, 櫻田宏一 編集, 法歯科医学, 永末書店, 京都, 2017, ISBN : 978-4-8160-1333-1.
- 4) 都築民幸 (分担執筆) : 第6章 虐待, 53-64, 高橋雅典 監修, 都築民幸, 山田良広, 櫻田宏一 編集, 法歯科医学, 永末書店, 京都, 2017, ISBN : 978-4-8160-1333-1.
- 5) 都築民幸 (分担執筆) : コラム DV と歯科, 64, 高橋雅典 監修, 都築民幸, 山田良広, 櫻田宏一 編集, 法歯科医学, 永末書店, 京都, 2017, ISBN : 978-4-8160-1333-1.
- 6) 都築民幸 (分担執筆) : コラム 障害者虐待・高齢者虐待と歯科, 64, 高橋雅典 監修, 都築民幸, 山田良広, 櫻田宏一 編集, 法歯科医学, 永末書店, 京都, 2017, ISBN : 978-4-8160-1333-1.
- 7) 岩原香織 (分担執筆) : 第12章 歯科情報による個人識別の実際, 150-161, 高橋雅典 監修, 都築民幸, 山田良広, 櫻田宏一 編集, 法歯科医学, 永末書店, 京都, 2017, ISBN : 978-4-8160-1333-1.
- 8) 岩原香織 (分担執筆) : 第14章 災害時の歯科医師の活動, 173-182, 高橋雅典 監修, 都築民幸, 山田良広, 櫻田宏一 編集, 法歯科医学, 永末書店, 京都, 2017, ISBN : 978-4-8160-1333-1.

### B. 原 著

1. 都築民幸 : 歯科矯正学と歯科法医学との関わり—矯正歯科に携わる先生方をお願いしたいこと—, 東京矯歯誌, 2017 ; 27 (1) : 23-31.  
Tsuzuki T : Relationship with orthodontics and forensic dentistry, what is requested for colleagues engaged in orthodontic treatment, J. Tokyo Orthod. Soc., 2017 ; 27 (1) : 23-31.
2. 岩原香織, 都築民幸 : 歯科領域における創傷鑑定, 犯罪学雑誌, 2017 ; 83 (6) : 143-149.  
Iwahara K, Tsuzuki T : Analysis and Expert Testimony of the Wound in Dentistry, Acta Crim. Japon., 2017 ; 83 (6) : 143-149.

### C. 総説・解説

記載事項なし

### D. 報告 (臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等)・紀要

1. 岩原香織, 都築民幸 : 児童虐待防止シート, 神奈川県歯科医師会, 横浜, 2017.
2. 都築民幸, 岩原香織 : 子ども虐待の発見と防止—歯科法医学の視点から—, 子どもの虐待防止センター CAP ニュース, 105 (2018 新春) : 1-5, 東京, 2018.
3. 1) 岩原香織 (分担執筆) : PART1 子ども虐待と歯科 口腔顔面領域に現れる虐待の症候, 歯科衛生士, 41 (9) : 86-87, クインテッセンス出版, 東京, 2017.  
2) 岩原香織 (分担執筆) : PART1 子ども虐待と歯科 COLUMN 虐待死の最大の原因は頭頸部

外傷，歯科衛生士，41（9）：87，クインテッセンス出版，東京，2017.

- 3) 岩原香織：PART4 子ども虐待に対して歯科衛生士ができること できることを知り，支援者になる，歯科衛生士，41（9）：92-93，クインテッセンス出版，東京，2017.

## E. 翻 訳

1. 1) Carole Jenny 編，岩原香織（分担）：56 歯科ネグレクト，872-876，溝口史剛，白石裕子，小穴慎二 監訳，子どもの虐待とネグレクト—診断・治療とそのエビデンス—，金剛出版，東京，2017.
- 2) Carole Jenny 編，岩原香織（分担）：60 法歯科学，943-952，溝口史剛，白石裕子，小穴慎二 監訳，子どもの虐待とネグレクト—診断・治療とそのエビデンス—，金剛出版，東京，2017.

## F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. 都築民幸，岩原香織，佐藤喜宣：日本歯科大学生命歯学部歯科法医学講座における子ども虐待対応事案から，第9回子ども虐待医学会学術集会プログラム・抄録集，43，2017.
2. 都築民幸，岩原香織：臨床歯科法医学の実践—子ども虐待対応事案について—，日本法歯科医学会第11回学術大会プログラム・講演要旨集，17，2017.
3. 岩原香織，都築民幸：子ども虐待の対応・支援における臨床歯科法医学の活用，日本子ども虐待防止学会第23回学術集会ちば大会プログラム・抄録集，追加資料，2017.

## G. 講 演

### (1) 特別講演・シンポジウム等での講演

1. 都築民幸：歯科情報から分かる子ども虐待—口腔顔面の損傷と病態を評価する—損傷の評価，日本子ども虐待防止学会第23回学術集会ちば大会，教育講演，浦安市，2017年12月3日.
2. 岩原香織：歯科情報から分かる子ども虐待—口腔顔面の損傷と病態を評価する—病態の評価，日本子ども虐待防止学会第23回学術集会ちば大会，教育講演，浦安市，2017年12月3日.

### (2) 講演会・研究会・研修会等での講演

1. 都築民幸：災害時の歯科的個人識別，渋谷警察署大規模災害時における多数死体取扱合同訓練打合せ会議，渋谷区，2017年5月10日.
2. 岩原香織：災害時の身元確認—役割の確認—，渋谷区三警察署と公益社団法人渋谷区歯科医師会との大規模災害時における多数死体取扱合同訓練，渋谷区，2017年5月18日.
3. 岩原香織，都築民幸：訓練で，何を見て，何を採りましたか？，渋谷区歯科医師会事後検証会，渋谷区，2017年6月27日.
4. 都築民幸：死体現象と歯科所見採取，神奈川県警察協力歯科医研修会，横浜市，2017年7月20日.
5. 都築民幸：歯科医療従事者ができる子ども虐待防止と支援—歯科の知識・情報を子ども虐待の防止・対応に活用する—，東京都歯科医師会・子どもの虐待防止センター共催子どもの虐待防止研修会，千代田区，2017年7月25日.
6. 都築民幸：軽症者テントにおける歯科医師の役割，平成29年度江戸川区総合防災訓練，江戸川区，2017年7月27日.
7. 都築民幸：死体からの歯科所見採取，平成29年度神奈川県警察協力歯科医研修会，横須賀市，2017年7月30日.

8. 岩原香織：死体から採取した歯科所見の評価，平成 29 年度神奈川県警察協力歯科医研修会，横須賀市，2017 年 7 月 30 日．
9. 岩原香織：検視実務教養一歯科法医学一，石川県警察，金沢市，2017 年 8 月 23 日．
10. 都築民幸，岩原香織：災害時の確実な歯科的個人識別のために一警察と歯科医師の連携一，平成 29 年度大分県歯科医師会身元確認研修会，大分市，2017 年 9 月 9 日．
11. 都築民幸：歯科情報を活用する一個人識別・子ども虐待一，第 35 回群馬県警察医会総会，前橋市，2017 年 9 月 30 日．
12. 岩原香織：子どもをみる一私ができること、私たちができること一，川崎市歯科医師会乳幼児歯科保健講習会，川崎市，2017 年 10 月 5 日．
13. 岩原香織：災害時の医療救護一その目的はなんですか一，川口歯科医師会総合防災訓練事前打合せ，川口市，2017 年 10 月 20 日．
14. 都築民幸：犯罪捜査における歯科情報の活用一個人識別・子ども虐待一，平成 29 年度栃木県法医談話会研修会，宇都宮市，2017 年 10 月 21 日．
15. 都築民幸：子ども虐待の防止，支援と歯科一行政・学校・警察・歯科における情報共有を目指して一，平成 29 年度第 27 回鹿沼地区歯科医師警察連絡会総会，鹿沼市，2017 年 11 月 16 日．
16. 都築民幸：子ども虐待防止のための歯科情報の活用 part2，静岡県・一般社団法人 静岡県歯科医師会子ども虐待防止に向けた講習会，静岡市，2017 年 11 月 19 日．
17. 岩原香織：災害時の身元確認における歯科検査，警視庁港区管内 6 警察署と一般社団法人東京都港区警察歯科医会との大規模災害時における多数死体取扱合同訓練，港区，2017 年 11 月 25 日．
18. 都築民幸：検査の前準備（強制開口・口腔清掃）と写真撮影，警視庁港区管内 6 警察署と一般社団法人東京都港区警察歯科医会との大規模災害時における多数死体取扱合同訓練，港区，2017 年 11 月 25 日．
19. 都築民幸：歯科医療救護における身元確認班（歯科医師班）の活動，平成 29 年度身元確認に関する歯科医師研修会，千代田区，2017 年 11 月 28 日．
20. 都築民幸，岩原香織：スクリーニングとマッチングの考え方ーエビデンスと経験に基づく情報提供の重要性一，平成 29 年度新潟県歯科医師会身元確認研修会，新潟市，2017 年 12 月 10 日．
21. 岩原香織：多数死体発生時の歯科的個人識別一歯科検査の意味一，小岩警察署多数死体取扱要領合同訓練打合会議，江戸川区，2018 年 1 月 17 日．
22. 都築民幸：災害と歯科衛生士一医療従事者として歯科衛生士ができること一，公益社団法人東京都歯科衛生士会 平成 29 年度第 4 回歯科衛生士学生応援セミナー，新宿区，2018 年 1 月 21 日．
23. 都築民幸：災害時における歯科医療活動とは，東京都西多摩歯科医師会警察歯科事業・法医学講演会，青梅市，2018 年 1 月 24 日．
24. 都築民幸：歯科からの子ども虐待防止と支援一歯科情報を共有して多（他）職種で連携しよう！一，松戸市歯科医師会平成 29 年度学校歯科医研修会，松戸市，2018 年 2 月 2 日．
25. 都築民幸：多数死体取扱時の歯科検査，江戸川区歯科医師会、江戸川区役所、江戸川三署による多数死体取扱要領合同訓練，江戸川区，2018 年 2 月 8 日．
26. 都築民幸：身元確認活動における照合・異同判定の実際，平成 29 年度身元確認に関する歯科医師研修会，千代田区，2018 年 2 月 14 日．
27. 岩原香織：歯科記録作成と照合異同判定ースクリーニングとマッチングー，豊島区歯科医師会警察歯科医会研修会，豊島区，2018 年 2 月 15 日．
28. 岩原香織，都築民幸：歯科記録用紙記入と照合作業，渋谷区歯科医師会防災講演会，渋谷区，2018 年 2 月 16 日．



29. 都築民幸：個人識別，子ども虐待防止における歯科情報の活用，公益社団法人東京都太田区大森歯科医師会警察協力医研修会，太田区，2018年2月21日．
30. 岩原香織：すぐに役立つ日常臨床のコツ 臨床を法医に活用する，平成29年度日本歯科大学学内校友会東京支部ミニセミナー，千代田区，2018年2月22日．
31. 都築民幸：災害時における医療救護—いのちを救う医療・生きる力を支える医療・最期の医療—，東京都日本歯科大学校友会小石川支部研修会，文京区，2018年2月24日．
32. 都築民幸，岩原香織：災害時の身元確認を確実にを行うために—互いのできること・しなければならぬことを理解し，連携する—，江戸川区歯科医師会，江戸川区役所，江戸川三署による多数死体取扱要領合同訓練事後検証会，江戸川区，2018年3月9日．
33. 都築民幸：災害歯科医療—いのちを救う医療・生きる力を支える医療・最期の医療—，第27回栃木県歯科医師会警察協力会研修会，宇都宮市，2018年3月25日．

## 1. 所属構成員等

教 授 中原 貴  
講 師 井出 吉昭  
助 教 富永 徳子  
客 員 教 授 等 宮浦 千里, 岩田 誠  
非 常 勤 講 師 田巻 友一, 品川 令  
技 術 職 員 山崎 良美  
大 学 院 生 望月 真衣

## 2. 研究テーマ

- 1) “再生歯インプラント”の器官創製と再生医療への応用 Engineering of test-tube dental implants for regenerative therapy.
- 2) 歯・歯周組織ユニットの発生・再生メカニズムの解明 Cell and molecular biology of tooth/periodontal tissue development and regeneration.
- 3) 抜去歯由来の幹細胞の分離・同定と機能性細胞への分化誘導法の開発 Isolation, characterization, and differentiation of multipotent stem cells derived from human teeth.
- 4) 抗加齢医療にむけた体性組織メンテナンスと幹細胞制御 Cellular senescence and rejuvenation of somatic stem cells: development of anti-aging therapy.

## 3. 今年度の研究上の特記すべき事項

- 1) Odontology 賞, 田巻友一, 2017 年 10 月 17 日, In vitro analysis of mesenchymal stem cells derived from human teeth and bone marrow.
- 2) 平成 29 年度「科研費」審査委員表彰, 中原 貴, 2017 年 9 月 29 日.
- 3) 学校法人日本歯科大学: 中原 貴, 石川 博, 佐藤 聡, 太田正人, 2017 年 4 月 12 日, 登録番号 2329851 EP (ドイツ, フランス, イギリス) (出願番号 09811533.0), METHODS FOR FORMING TOOTH ROOT AND PERIODONTAL TISSUE UNIT AND REGENERATED TOOTH.
- 4) 日本歯科医学会歯科学術用語委員会委員, 中原 貴, 2017 年 7 月 1 日.
- 5) 第 27 回 発生・再生医科学セミナー (DRD Seminar), 講師: 岩田 誠, 「免疫学概説」および「リンパ球の動態と分化について」, 日本歯科大学生命歯学部 141 講堂, 東京, 2017 年 5 月 19 日.
- 6) メディア掲載記事
  - (1) 学外メディア
    1. 日本歯科新聞, 2005, 2018 年 1 月 30 日, 5 面, 幹細胞の培養～歯髄から血清なしで成功～日歯大の中原教授ら.
    2. 日刊歯科通信, 5287, 2018 年 1 月 30 日, 1 面, 幹細胞の培養～歯髄から血清なしで成功～日歯大の中原教授ら.
    3. Dentalism (デンタリズム), “全国初、歯の細胞バンク外来が開設。歯髄細胞を使った再生医療に弾み”, WINTER 29, 21, 2017, <http://www.dentalism.jp/data/dentalism029/html5.html#page=23>.
    4. 日本歯科新聞, 1988, 2017 年 9 月 12 日, 7 面, 歯の細胞バンク外来～日歯大新潟病院が開設.
    5. 日刊歯科通信, 5197, 2017 年 9 月 11 日, 1 面, 歯の細胞バンク外来～日歯大新潟病院が開

設.

6. 新聞 QUINT, 261, 2017 年 9 月 10 日, 3 面, 歯科大学初の細胞バンクへの関心高く、受講者多数～歯の細胞バンク.
7. 新潟日報, 2017 年 9 月 2 日, 30 面, 日本歯科大 歯の細胞バンク～新潟病院に専門外来再生医療に活用 県内での普及狙う.
8. 東京歯科保険医新聞, 570, 2017 年 9 月 1 日, 8 面, 5. おわりに.
9. メールマガジン『クイント』, 804, 2017 年 8 月 3 日, 歯の細胞バンク、第 2 期認定医講習会を開催～歯科大学初の細胞バンクへの関心高く、多数の歯科医師が受講.
10. Quint Dental Gate, 2017 年 7 月 30 日, 歯の細胞バンク、第 2 期認定医講習会を開催, <https://www.quint-j.co.jp/web/topic/topi.php?id=2240>.

## (2) 学内・校友会メディア

1. 日本歯科大学新聞, 648, 2018 年 2 月 28 日, 東京 発生・再生医科学 幹細胞の培養、歯髄から血清なしで成功.
2. 佐藤英明：新潟病院「歯の細胞バンク外来」を開設, 日本歯科大学校友会・歯学会会報, 43 (3) : 42, 2018.
3. 鈴木洋一：東京・附属病院 飯田橋駅前開設 30 周年 記念式典・記念講演会を開催, 日本歯科大学校友会・歯学会会報, 43 (3) : 68, 2018.
4. 日本歯科大学校友会メールマガジン, 398, 2018 年 2 月 26 日, 中原教授ら「ウシの血清なしで歯髄から幹細胞の分離に成功」.
5. 日本歯科大学新聞, 647, 2017 年 12 月 30 日, 2 面, 田巻（非）講師（東京・発生再生医科学）受賞 歯学会オドントロジー賞.
6. 日本歯科大学新聞, 647, 2017 年 12 月 30 日, 1 面, 東京 附属病院駅前移転 30 周年・多摩クリニック開院 5 周年を祝う.
7. 日本歯科大学校友会メールマガジン, 390, 2017 年 12 月 11 日, 歯の細胞バンク 認定医講習会 終了する.
8. 日本歯科大学校友会メールマガジン, 387, 2017 年 11 月 6 日, 附属病院駅前開設 30 周年記念式典 開催される.
9. 日本歯科大学校友会メールマガジン, 378, 2017 年 8 月 7 日, 「歯の細胞バンク」に改称される.
10. 日本歯科大学校友会メールマガジン, 376, 2017 年 7 月 24 日, 歯の（歯髄）細胞バンク 第 2 期認定医講習会 開催される.

## 4. 学位取得者

- 1) 望月真衣, 血清非存在下におけるヒト歯髄細胞の分離と幹細胞特性評価～臨床的細胞治療に向けた実践的無血清培養法の確立～, 2018 年 2 月 6 日, 日本歯科大学.

## 5. 主催学会等

記載事項なし

## 6. 国際交流状況

- 1) 井出吉昭: 医療ならびに研究に関わる 3D テクノロジーの知識・技術の提供を受けるため, Institute

for Reconstructive Sciences in Medicine (iRSM), University of Alberta の Prof. Johan Wolfaardt らとの国際交流を継続中.

## 7. 外部・学内研究費

- 1) 平成 29 年度医療研究開発推進事業費補助金, 橋渡し研究戦略的推進プログラム (シーズ B) (新規), 平成 29 年度, ヒト歯髄幹細胞を用いた肝不全に対する肝再生治療法の開発, 八重垣健 (代表), 福田邦明 (分担), 石川 博 (分担), 中原 貴 (分担), 武川寛樹 (分担), 50,496,000 円.
- 2) 平成 29 年度医療研究開発推進事業費補助金, 橋渡し研究戦略的推進プログラム (シーズ A) (新規), 平成 29 年度, ヒト歯髄幹細胞による神経再生医療への応用, 石川 博 (代表), 中原 貴 (分担), 武川寛樹 (分担), 1,000,000 円.
- 3) 独立行政法人日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究 (B) (継続), 平成 27~29 年度, がん化リスクのない多能性幹細胞の医療応用~新規培養法によるバイオエナメル創製~, 中原 貴 (代表), 井出吉昭 (分担), 石川 博 (分担), 橋本尚詞 (分担), 立花利公 (分担), 富永徳子 (分担), 17,160,000 円, 平成 29 年度 5,200,000 円.
- 4) 独立行政法人日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究 (C) (継続), 平成 27~29 年度, 放射線歯根形成障害メカニズム解明の基盤研究~新たな知見を創設可能な実験システム~, 井出吉昭 (代表), 中原 貴 (分担), 那須優則 (分担), 石川 博 (分担), 大山晃弘 (分担), 豊村順子 (分担), 4,180,000 円, 平成 29 年度 1,690,000 円.
- 5) 独立行政法人日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究 (C) (新規), 平成 29~32 年度, 歯根膜由来骨格筋細胞を用いた心筋梗塞に対する新規細胞治療法の開発, 富永徳子 (代表), 中原 貴 (分担), 石川 博 (分担), 酒井 俊 (分担), 4,940,000 円, 平成 29 年度 3,770,000 円.
- 6) 独立行政法人日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究 (C) (新規), 平成 29~32 年度, 放射線による歯胚形成障害のメカニズムの解明~エナメル結節と周囲間葉の遺伝子動態~, 岩田 洋 (代表), 井出吉昭 (分担), 深田哲也 (分担), 中原 貴 (分担), 4,680,000 円, 平成 29 年度 1,170,000 円.
- 7) 平成 29 年度日本歯科大学生命歯学部研究プロジェクト公募研究 3 (新規), 平成 29 年度, 日本歯科大学における再生医療実現化プロジェクト, 筒井健夫 (代表), 八重垣健 (分担), 中原 貴 (分担), 石川 博 (分担), 今井敏夫 (分担), 5,300,000 円.

## 8. 研究業績

### A. 著 書

1. 中原 貴 (分担執筆): 【トピックス】 歯内療法が担う歯髄細胞バンク~ポジティブな抜髄治療のススメ~, 172-175, 北村和夫 編, 歯内療法のレベルアップ&ヒント, デンタルダイヤモンド, 東京, 2017, ISBN : 978-4-88510-388-9.

### B. 原 著

1. \*Mochizuki M, Nakahara T : Establishment of xenogeneic serum-free culture methods for handling human dental pulp stem cells using clinically oriented in-vitro and in-vivo conditions, ☆Stem Cell Res. Ther., 2018 ; 9 : 25, doi : 10.1186/s13287-017-0761-5. (学位論文)
2. \*Murabayashi D, Mochizuki M, Tamaki Y, Nakahara T : Practical methods for handling human periodontal ligament stem cells in serum-free and serum-containing culture conditions under hypoxia: implications for regenerative medicine, ☆Hum. Cell, 2017 ; 30 (3) : 169-180, doi : 10.1007/s13577-017-0161-2. (学

位論文)

3. \*Shinagawa-Ohama R, Mochizuki M, Tamaki Y, Suda N, Nakahara T: Heterogeneous human periodontal ligament-committed progenitor and stem cell populations exhibit a unique cementogenic property under in vitro and in vivo conditions, ☆Stem Cells Dev., 2017 ; 26 (9) : 632-645, doi : 10.1089/scd.2016.0330.  
(学位論文)

## C. 総説・解説

1. 井出吉昭：研究成果と臨床応用 実験用マイクロ CT 装置で観察した顎骨の内部構造, 歯学, 104 (春季特集号) : 101-103, 2017.

## D. 報告(臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等)・紀要

1. 中原 貴：「歯の細胞バンク外来」附属病院（東京）にも開設—第12回認定医講習会を開催—, 日本歯科大学校友会・歯学会会報, 43 (3) : 42, 2018.
2. 田巻友一：Odontology Prize 2017<受賞者>田巻友一, 日本歯科大学校友会・歯学会会報, 43 (3) : 61, 2018.
3. 中原 貴：<写真提供>パルフィーくん®とパルプンくん®の2月バージョン, 日本歯科大学校友会・歯学会会報, 43 (3) : 裏表紙, 2018.
4. 中原 貴：脱スマホの勧め, 歯学, 105 (秋季特集号) : 3, 2017.
5. 中原 貴：<写真提供>パルフィーくん®とパルプンくん®の秋バージョン, 日本歯科大学校友会・歯学会会報, 43 (2) : 裏表紙, 2017.
6. 中原 貴：「歯の細胞バンク外来」新潟病院に開設—第2期最後の認定医講習会を開催予定—, 日本歯科大学校友会・歯学会会報, 43 (2) : 34, 2017.
7. 中原 貴：<写真提供>パルフィーくん®とパルプンくん®の夏バージョン, 日本歯科大学校友会・歯学会会報, 43 (1) : 裏表紙, 2017.
8. 中原 貴：「歯の細胞バンク」に改称—第2期認定医講習会を開催—, 日本歯科大学校友会・歯学会会報, 43 (1) : 32, 2017.
9. 中原 貴：現代医療者の共通認識, 日本歯科大学校友会・歯学会会報, 43 (1) : 2, 2017.
10. 中原 貴：【NDUフロンランナー】歯髄細胞バンクが拓く新たな歯科医療, 日本歯科大学創立110周年記念誌, 29, 2017.
11. 中原 貴：【創立110周年記念全国校友大会 記念講演2】バイオ再生医療のパラダイムシフト, 日本歯科大学創立110周年記念誌, 23-25, 2017.
12. 中原 貴：【学内インフォメーション】歯髄細胞バンク認定医講習会—第2期認定医へのいざない—, 日本歯科大学校友会・歯学会会報, 42 (4) : 40, 2017.
13. 中原 貴：【学術フォーラム2017事後抄録】歯髄細胞バンクの現状と将来展望, 日本歯科大学校友会・歯学会会報, 42 (4) : 57, 2017.
14. 中原 貴：【歯科トレンドウォッチ】智歯や乳歯などの抜去歯が再生医療の切り札に「歯髄細胞バンク」から広がる新たな歯科医療, 東京医師歯科医師協同組合医歯協MATE, 300, 12-13, 2017.

## E. 翻訳

記載事項なし

## F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. 望月真衣, 村林 大, 田巻友一, 中原 貴: 無血清および低酸素におけるヒト歯根膜細胞の実践的培養法の確立, 日本再生医療学会誌, 17: 161, 2018.
2. 望月真衣, 中原 貴: ヒト歯髄幹細胞における Xeno-free 培養液の実践的培養法, 2017 年度生命科学系学会合同年次大会プログラム集, 309, 2017.
3. Arimura Y, Kikuchi T, Yamanaka R, Shindo Y, Hotta K, Mochizuki M, Nakahara T, Oka K: Characteristics of neuronal differentiated cells derived from human dental pulp stem cells (hDPSCs), Neuroscience 2017, 5576, Walter E Washington Convention Center (Washington DC, USA), November 11-15, 2017.
4. 浅野一成, 莊司洋文, 藤城建樹, 柳下寿郎, 井出吉昭, 中原 貴, 松野智宣: 下顎犬歯と癒着し, 口腔内に露出した複雑性歯牙腫の 1 例, 日本口腔外科学会雑誌, 63: 216, 2017.
5. 大山晃弘, 豊村順子, 渡邊美穂, 渡邊美隆, 中原 貴, 石川 博: 再生医療のために凍結保存している歯髄細胞の多分化能についての報告, 第 35 回日本ヒト細胞学会学術集会プログラム・抄録集, 82, 2017.
6. 望月真衣, 村林 大, 田巻友一, 中原 貴: 無血清培養におけるヒト歯根膜細胞の特性評価と実践的培養法の検討, 第 35 回日本ヒト細胞学会学術集会プログラム・抄録集, 80, 2017.
7. 富永徳子, 豊村順子, 石川 博, 中原 貴: ミニブタ胎仔乳臼歯歯冠から樹立したエナメル上皮細胞におけるグリコーゲン解析, 第 35 回日本ヒト細胞学会学術集会プログラム・抄録集, 70, 2017.
8. 井出吉昭, 深田哲也, 那須優則, 中原 貴: マウス歯胚の局所照射法の確立と歯根形成時の照射歯胚の形態学的観察, J. Oral Biosci., 59 (Suppl.): 204, 2017.
9. Arimura Y, Kikuchi T, Yamanaka R, Shindo Y, Hotta K, Mochizuki M, Nakahara T, Oka K: Characterization of neurons and astrocytes derived from human dental pulp stem cells, 第 40 回日本神経科学大会プログラム・抄録集, 205, 2017.
10. Mochizuki M, Nakahara T: Characterization of cryopreserved human dental pulp stem cells prepared under xenogeneic free-culture conditions, 15<sup>th</sup> Annual Meeting International Society for Stem Cell Research, F1229, Boston Convention and Exhibition Center (Boston, USA), June 14-17, 2017.
11. 小玉裕樹, 美原希美, 前田宗宏, 富永徳子, 中原 貴, 添野雄一, 今井一志: マウス歯胚形成過程における HMGA2 の発現, 第 49 回日本結合組織学会学術大会プログラム・抄録集, 122, 2017.
12. 滑川初枝, 青木春美, 田中とも子, 中西生美, 横澤 茂, 富永徳子, 沼部幸博, 松野智宣, 千葉忠成, 田谷雄二, 松岡孝典, 大津光寛, 仲谷 寛, 石田鉄光: 日本歯科大学生命歯学部第 1 学年 PBL チュートリアル教育における意識調査—平成 23 年度と平成 28 年度との比較—, 第 36 回日本歯科医学教育学会総会・学術プログラム・抄録集, 122, 2017.

## G. 講演

### (1) 特別講演・シンポジウム等での講演

記載事項なし

### (2) 講演会・研究会・研修会等での講演

1. 中原 貴: バイオ再生医療と歯髄細胞バンク～第 2 期認定医講習会へのいざない～, 兵庫県生涯研修セミナー, 兵庫県歯科医師会館, 神戸, 2017 年 4 月 16 日.
2. 中原 貴: バイオ再生医療にむけた歯髄細胞バンクの役割, 第 360 回松本歯科大学大学院セミナー, 松本歯科大学実習館 2 階総合歯科医学研究所セミナールーム, 塩尻, 2017 年 4 月 21 日.

3. 中原 貴：バイオ再生医療をになう歯髄細胞の魅力，日本歯科大学校友会主催 日本歯科大学新潟生命歯学部第3学年特別講義，日本歯科大学新潟生命歯学部 511 教室，新潟，2017 年 5 月 11 日．
4. 中原 貴：バイオ再生医療と歯髄細胞バンク～第2期認定医講習会のお誘い～，埼玉県日本歯科大学校友会学術講演会，ホテルブリランテ武蔵野，さいたま，2017 年 7 月 2 日．
5. 井出吉昭：～装置の特徴と応用編～新しい大型マイクロ CT 装置の特徴と利用法の提案，平成 28 年度研究プロジェクト報告会「マイクロ CT の新規導入とその使用例」，日本歯科大学生命歯学部 131 講堂，東京，2017 年 7 月 7 日．
6. 中原 貴：バイオ再生医療が拓く未来の歯科医療，北日本口腔インプラント研究会主催 2017 年度公益社団法人日本口腔インプラント学会認定講習会，北海道歯科医師会館，札幌，2017 年 7 月 8 日．
7. 中原 貴：歯の細胞バンク～概要と意義～，歯の細胞バンク認定医講習会，日本歯科大学生命歯学部 131 講堂，東京，（第 9 回）2017 年 7 月 16 日，（第 10 回）2017 年 7 月 30 日，（第 11 回）2017 年 11 月 19 日，（第 12 回）2017 年 12 月 3 日．
8. 中原 貴：附属病院と研究室をつなぐ歯の細胞バンク～歯科医師共通のゴールをめざして～，日本歯科大学附属病院駅前開設 30 周年記念講演，日本歯科大学附属病院牛込ホール，東京，2017 年 10 月 30 日．
9. 中原 貴：歯の細胞バンクとバイオ再生医療～第2期認定医講習会のお誘い～，日本歯科大学水泳部 OB 会主催 副学長就任記念講演会，ホテルメトロポリタンエドモント，東京，2017 年 11 月 11 日．
10. 大山晃弘，豊村順子，渡邊美穂，中原 貴，石川 博：歯の細胞バンクのために保存している歯髄細胞についての報告，平成 29 年度日本歯科大学歯学会第 4 回ウインターミーティング，日本歯科大学生命歯学部メモリアルホール，東京，2017 年 12 月 9 日．
11. 中原 貴，豊村順子，大山晃弘，石川 博，佐藤英明，吉田和正，荘司洋文：日本歯科大学・セントラルクリニック歯の細胞バンクの現状と将来展望 2017，平成 29 年度日本歯科大学歯学会第 4 回ウインターミーティング，日本歯科大学生命歯学部メモリアルホール，東京，2017 年 12 月 9 日．
12. 中原 貴：創立 112 年目を迎えた母校・日本歯科大学の近況について，日本歯科大学 88 回卒 中原貴副学長就任記念講演会，ホテルメトロポリタンエドモント，東京，2018 年 1 月 28 日．
13. 中原 貴：バイオ再生医療と歯の細胞バンク～安全を担保する医療インフラにむけて～，筑波大学医学セミナー，筑波大学 4A411 室，つくば，2018 年 2 月 20 日．
14. 中原 貴，豊村順子，大山晃弘，石川 博，佐藤英明，吉田和正，荘司洋文：日本歯科大学・セントラルクリニック歯の細胞バンクの現状と将来展望 2018，日本歯科大学校友会学術フォーラム 2018，日本歯科大学生命歯学部 134 講堂，東京，2018 年 2 月 25 日．
15. 中原 貴：【ザ・ノンフィクション】論文投稿の実際＜submit→revise→accepted まで，最近の 3 論文を例に挙げて＞，日本歯科大学大学院生命歯学研究科平成 29 年度大学院セミナー，日本歯科大学生命歯学部第 2 会議室，東京，2018 年 2 月 28 日．